

灘三田線で「フェード現象」による事故が連続発生！

「急な下り坂」に要注意！！

エンジンブレーキと低めのギアの活用で事故防止！

灘三田線
事故発生状況

- ①令和8年8月20日(木)午後8時13分ころ、灘区一王山町レッカー車がブレーキ操作不能となり、信号柱等に衝突
- ②令和8年9月16日(水)午前8時5分ころ、灘区高羽2丁目中型貨物車がブレーキ操作不能となり、路線バス等に衝突

【灘三田線(フェード現象重点対策路線)】

【フェード現象とは？】



長い下り坂などでフットブレーキを頻繁に使用しすぎるとブレーキの過熱により、急にブレーキが利かなくなることがあります。これを「フェード現象」といいます。

エンジンブレーキや低めのギアを活用しましょう！

- マニュアル車(MT車)
シフトダウンしてアクセルを戻す
⑤⇒④⇒③⇒②⇒①
- オートマチック車(AT車)
Dレンジのすぐ下のレンジに入れて
アクセルを戻す
- 下り坂ではアクセルを踏まないことも大切なポイントです。排気ブレーキ、リターダ装着車は活用しましょう！

フェード現象重点対策路線を含む勾配の急な下り坂を通行する際は、ブレーキ等の事前点検をしましょう！

また、走行中に

- ブレーキ部分からの煙や異臭
- ブレーキペダルの踏みごたえがやわらかい
- ブレーキペダルを踏みこんで放した場合のブレーキバルブからの異常な排気音

などを感じた場合には安全な場所に停止し、ブレーキが冷えるまで待ちましょう！

注意！

